

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市子ども・子育て会議（令和 7 年度第 1 回）
開 催 日 時	令和 7 年 5 月 3 0 日（金） 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 3 0 分まで
開 催 場 所	市役所 7 階研修室
出 席 者 の 氏 名	（会議録別表 1）のとおり
欠 席 者 の 氏 名	（会議録別表 1）のとおり
議 題	議事 （1）青少年部会の設置について （2）各事業の進捗状況報告 （3）児童館の愛称募集の候補について （4）その他（こども誰でも通園制度について）
会 議 資 料	・資料 1：会議体等の体制の見直しについて ・資料 2：第 2 期所沢市子ども・子育て支援事業計画 令和 6 年度進捗状況報告 ・資料 3：児童館の愛称候補選定について ・資料 4：「児童館の愛称募集中」チラシ ・資料 5：愛称候補一覧 ・資料 6：児童館一覧 ・追加資料 1：青少年部会の委員一覧 ・追加資料 2：こども誰でも通園制度について
担 当 部 課 名	こども未来部 市来部長、吉田次長、松井参事 こども政策課 中村課長、溝井副主幹、高橋主査、 糟谷主査、木下主査、高谷主任、 市川主事 こども支援課 田井課長 こども福祉課 藤澤課長 青少年課 仲課長 保育幼稚園課 東課長、高橋主幹 こども家庭センター 美甘主幹 （事務局）こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415

会議録

(会議録別表 1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏 名	出欠席状況	選出母体等
1	城崎 理恵	出席	市民公募
2	石川 美穂	出席	市民公募
3	中村 まどか	出席	市民公募
4	藤原 秀太	欠席	市民公募
5	野本 理恵	出席	所沢商工会議所
6	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
7	渡辺 由美子	出席	所沢市私立幼稚園協会
8	川口 貴史	欠席	埼玉県保育協議会
9	後藤 泰秀	出席	地域型保育事業運営団体
10	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
11	赤池 慎一	出席	所沢市青少年育成推進員協議会
12	喜多濃 定人	出席	児童館運営事業者
13	秋山 展子	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
14	仲田 智宏	出席	所沢市立小中学校校長会
15	秀島 寿子	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
16	小沢 貞泰	出席	子ども・子育て支援関係者
17	竹内 和代	出席	子ども・子育て支援関係者
18	田口 眞弓	出席	子ども・子育て支援関係者
19	杉田 まどか	出席	所沢市PTA連合会

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	～ 開 会 ～ ■ 委嘱状交付 ■ 委員・事務局職員紹介 ■ 会長挨拶 ■ 傍聴確認 ■ 資料の確認 《議事 1 の「青少年部会の設置について」》 ～事務局より資料 1、追加資料 1 に基づき説明～ 【質問等なし】 《議事 2 の「各事業の進捗状況報告」について》 ～事務局より資料 2 に基づき説明～ 会議に参加するため、地域の子育てをしている方に困っていることがないか聞いてきた。市が頑張って子育てニーズに答えようとしていることは分かったが、下安松地域では、保育園や児童館、児童クラブに入れないという声はまだ多くある。地域的な背景もあると思うが、保育に関する事業の説明をする際には、保育園ごとや中学校区などの生活圏域ごとの待機児童数など、児童クラブも含め、基になるデータあれば示してほしい。保育士確保に取り組んでいるという説明があったが、具体的な取り組みを教えてほしい。また、県のコバトンベビーギフトはさいたま市だと 1 万円もらえるが、所沢市ではもらえないという話を聞いたが本当か。
事務局	（こども政策課） 昨年度、所沢市でも県からのギフトが受けられるよう、他市と同様に事業を実施した。 （保育幼稚園課） 保育園には学区のような概念はなく、保育園の入園申請は複数の園を希望できるため、園ごとの待機児童数を出すことはできない。保育士の確保策としては、主に 3 つの施策を行っている。東京都との格差を埋めるため、給与改善を図るための事業として、市が単独で民間園が支払う保育士への毎月の給与に 28,000 円上乘せする事業を行って

委員	いる。2 つ目に、遠方から就職する方などのために民間園がアパート等を借り上げた場合に、家賃の一部を補助している。3 つ目に、令和 5 年度から保育士の奨学金返済支援として毎月 15,000 円、最大 5 年間で 90 万円を補助し、保育士の流出、離職を防ぐ取り組みを行っている。 (青少年課) 児童館の生活クラブや児童クラブに関しては、申込みをしたが入所保留となった人数をクラブごとに出すことは可能。 放課後健全育成事業について、こども計画にも今後の方向性として長期休みの一時預かりを検討することが掲載してあるが、具体的にいつから実施予定か。また、県外などからの転校生で、児童クラブに入れないから年度内の引っ越しをやめようという話もある。転校生の枠を優先的に予め設定しておくことができればいい。
事務局	(青少年課) 夏休み時期の一時預かりについては、サマープレイスところざわ実施事業といって、今年度 3 か所で開始する。小学校の夏季休業期間に専任の方を置き、1 か所 20 名を預かる。今年度の状況をみて検討し、来年度以降、場所を増やしていきたい。 転校生の枠については、地区により保留児童もいるため優先枠の設定は難しい。
委員	母が休める環境や制度が足りていない。一時預かりはこどもにアレルギーがあると預かってもらえないことがあり、空いていないことも多い。周りに頼れる人がいないワンオペの人も多い。父親が自主的に参加していける取り組みをしていかないと、大変な母親が減っていかない。例えば西武沿線やまち全体で協力し、声かけや朝晩の関わりができるような取り組みが増えれば、行政までつながる家庭が減るのではないか。 また小学校の給食は助かっているが、アレルギーがあると、保育園と比べて家から持参しなくてはいけない機会が多い。献立作りを工夫するなど親の負担を減らす取り組みをお願いしたい。
事務局	(こども家庭センター) こども家庭センターでは、妊娠中に両親学級という父親も参加できる事業を実施している。お子さんを迎えるイメージをしてもらい、実

	技などを通して学んでいただく内容となっている。 また先日開催された地域子育て支援拠点担当者会議で、地区担当保健師と連携を図っており、拠点の事業として父親向けの講座等の実施についてもお願いをしている。 (こども支援課) こども支援センタールピナスには、お父さんと遊びに来ている家庭も多く、ひろば事業のなかでお父さんとお子さんが一緒に遊べる取り組みも増やしていければと考えている。 一時預かり事業の実施園においてアレルギー対応は行っているが、いろいろなアレルギーがあることから、全てのお子さんへの対応は難しい。各園に問い合わせさせていただき、もし対応できない場合にはお弁当持参という方法でお願いしたい。 《議事 3 の「児童館の愛称募集の候補について」》 ～事務局より資料 3 ～ 6 に基づき説明～
委員	近隣市で似た名称がある場合はどう考えるか。「No. 1 5 キラリ」は富士見市の市民会館と重なるが、範囲を広げたところで重なる名称があったら教えていただきたい。
事務局	(青少年課) 慎重に判断いただきたい名称については、基本は市内の事業所のみと考えている。他市の施設については問題ないだろうと考えている。
委員	「No. 1 6 彩さい館」は埼玉県イメージがあり、県の事業と思われてしまうのではないかと。また「No. 2 6 ニコニコ」は「ハウス」がついていなければ良いか。また「No. 7 1 仲よし」はひらがなであれば良いと考えるか。
事務局	(青少年課) 委員の意見を含め、慎重なご判断をお願いしたい。 《議事 4 の「その他（こども誰でも通園制度について）」》 ～事務局より追加資料 2 に基づき説明～

委員	こども誰でも通園制度は東京都でも実施している。ぜひ増えてほしいが、アレルギーがあると利用できる園の選択肢が狭まってしまう。園まで遠いとオムツや着替えを持っていくのも大変なので、着替えなどをサブスクで利用できると親は助かると思う。そういった施設をつくってほしい。
事務局	(保育幼稚園課) 本市での実施については制度設計を進めているところだが、通常の保育を妨げない範囲で協力を得られる事業者に手上げしてもらい、その事業者がどこまでできるのかといった考え方で設計をしていく。委員の意見も参考に、いい設計となるよう進めていく。
委員	保育園での実施ということだが、実施場所として幼稚園も考えているか。
事務局	(保育幼稚園課) 保育園だけでの実施に限定する制度ではないため、認定こども園や幼稚園でも実施は可能である。
委員	素晴らしい制度で広がっていけばいいと思うが、月極のお子さんに比べて一時預かりはリスクが高い。事業者としては、地域子育て支援拠点のような親子で遊びに行っている施設であれば、保育士とも顔見知りでこどもにとっても預かる側にとっても負荷が少ない。すぐに実施をとということではないが、いい事例として紹介したい。
委員	保育士が足りていない問題があるなかで、待機児童がいる自治体での実施は現実的なのか。対象が0歳から3歳未満となっているが、0歳児の枠は少ない。見込数はどのくらいか。
事務局	(保育幼稚園課) 現時点では具体的な見込数は出ていない。事業を進めるにあたっては事業者の協力が欠かせない制度であり、人員体制や空き部屋などの確保は必要になってくる。通常の保育を妨げない範囲でどこまで協力いただけるか、園への働きかけは行っていくが、全園での実施というわけではない。まずは手上げしていただいた事業者で、来年度は数か所での実施ができればと考えている。

委員	この制度は0、1、2歳児が対象。親子での同時通園もある。地域子育て支援センターなどの親子で遊びに来ている所で、信頼関係ができていて状況で、お子さんを預かる制度としていても良い。アレルギーについては、基本的に保育所はどこでも対応している。部分除去なのか完全除去なのか、やりながら提供していければいいと思う。 この制度は必要な制度。こどもを預けてランチしたいという声があり、こどもを預かっている間に園の給食を提供するようなことを考えている。こどもを預けて園から離れることが心配なご家庭であれば、お子さんから見えない場所でマッサージチェアを使ってもらうなど、現在もみんなで関わり子育てしようというコンセプトで行っている。園側の工夫で、いろいろなことが可能になっていくと思う。
事務局	(こども未来部) こども誰でも通園制度は、保育園以外でも様々なところで実施可能とされている。まずは保育園で実施するため、設計を始めたところであり、すぐに多くは広げられないと思っている。実施しながらどのくらいのニーズがあるのか、こういった場所にこども誰でも通園制度の施設が必要なのか、少しずつ広げていけたらと思っている。委員の皆さまにも様々なご意見、アイデアをいただきながら実施していければと考えている。
委員	アレルギー対応について、いろいろと善処していただいているが、アレルギーがあると、軽くても受け入れてもらえないことがある。重度のアレルギーであればさらに難しい。対応できるといっても、できていないところがある。誰でも安心して行ける園を増やしてほしい。東京都美術館では赤ちゃんを預け親だけで見に行ける日がある。所沢市ではそういった施設が少ないため、一時預かりやこども誰でも通園制度が利用できなかった人でも利用できるような託児付きのイベントを増やしてほしい。今は改善されたかもしれないが、一時預かりは預けたい日に預けられないことも多かった。
会長	以上で、本日の議事はすべて終了する。 議事2について、意見をすべて聞くことができなかったため、メール等で受け付けていただくのはどうか。
事務局	議事2について、追加での意見を伺うため、後日メールにてご案内する。

	■次回開催の案内 8 月下旬の開催を予定 ～ 閉 会 ～
--	---